

エコアクション21の取り組み方

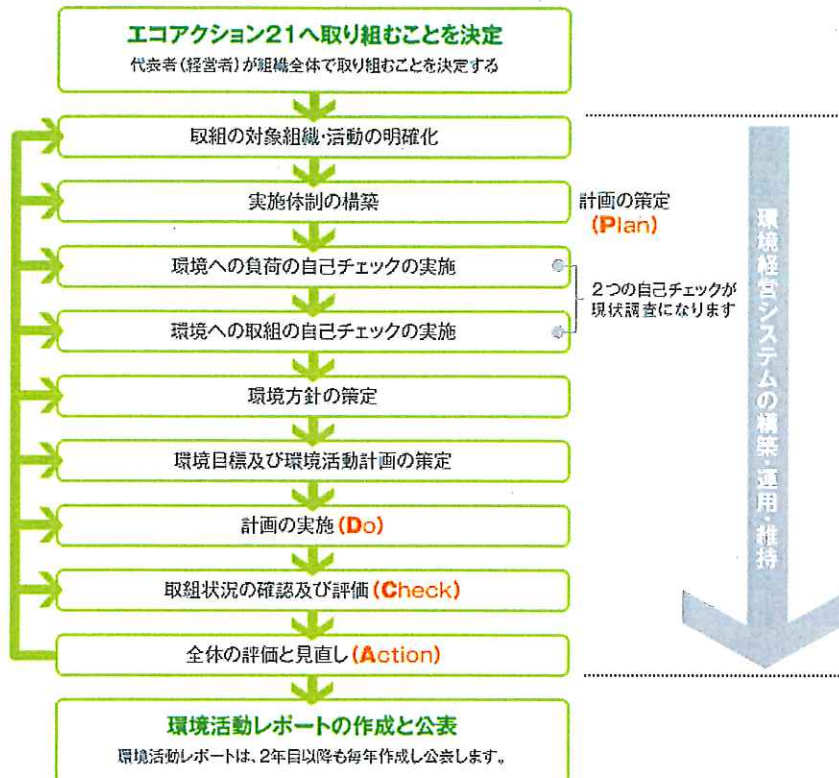
はじめてエコアクション21に取り組む場合の手順としては、まず代表者が、エコアクション21に組織全体で取り組むことを決定し、取組対象となる組織と活動の範囲を明確にします。エコアクション21の取組にあたっては、代表者のリーダーシップが何よりも重要です。

次に、エコアクション21に取り組むための、実施体制を決めます。そのうえで、環境に関する現状調査(初期調査)として、**エコアクション21ガイドラインの環境への負荷の自己チェックの手引き**および**環境への取組の自己チェックの手引き**をもとに、事業活動にともなう環境負荷の把握と環境への取組状況、組織に適用される環境関連法規等を把握します。そして、その結果を踏まえて、「環境経営システム」の要求事項にもとづき環境経営システムを構築します。

環境経営システムの構築においては、**計画の策定(Plan)**、**計画の実施(Do)**、**取組状況の確認および評価(Check)**および**全体の評価と見直し(Action)**のPDCAサイクルを基本とし、この結果を**環境活動レポート**として作成・公表します。

以後、このサイクルを繰り返すことにより**継続的改善**を図っていきます。

EA21の取り組み方



取り組みに関するご質問・ご相談について

「どのように取り組んだらいいかわからない…」 「もっと詳しく話を聞きたい！」
まずは、お近くの地域事務局に相談してみましょう。

エコアクション21の取り組み方にお悩みの事業者の方は、お近くの**地域事務局**にご相談ください。
なお希望する方は、審査を受ける前に、エコアクション21審査人によるコンサルティングを受けることもできます。(ただし、コンサルティングをした審査人は、審査を担当することはできません。)詳しいお申し込み方法や、料金については**支援サービス(コンサルティング)**をご覧ください。



[お近くの地域事務局を探す](#) [支援サービス\(コンサルティング\)](#)